

## 地対協コーナー

平成27年度の地対協活動は、13委員会と4WGで活動しておりますが、あらためて、その役割を考えた場合、広島県保健医療計画の推進に大きく貢献していると思います。

広島県では、今年度に「広島県地域医療構想」をまとめました。今後は、第7次保健医療計画の策定に向けた作業が必要となります。

5疾病5事業を中心とした、さらなる医療連携体制の構築とその充実が求められるところですが、地域の実情を理解した上で施策を推進しなければ、正に絵に描いた餅となります。

そうならないためにも、PDCAサイクルをきちんと回すことが必要となります。P (Plan)、D (Do)だけでなく、C (Check) とA (Action) をどのように行うかが今後の大きな課題となります。第6次計画や各種計画の検証も含めた対応が求められます。

さて今号は、1月に開催しました各種委員会についてお届けします。

活動や運営にあたり、皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく事務局までお寄せください。また、過去の委員会活動などは、地対協ホームページ (<http://www.citaikyo.jp/>) へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

### ○精神疾患専門委員会

日 時：平成28年1月18日(月) 19時30分

場 所：広島県医師会館5階 501会議室

委員長：山脇 成人

広島県自殺対策推進計画が今年度末をもって期限を迎えることから、第2次計画（平成28年度～平成32年度）の策定に向け、計画素案の骨子・骨格を共有するとともに、計画素案や今後の精神疾患医療関係施策に関する意見交換を行った。

#### 報告・協議事項

#### 1) 広島県自殺対策推進計画（第2次）の計画素案について

第1次計画では、「一人ひとりの気づきと見守りの促進」「地域の中心的人材の養成」「こころの健康づくりの推進」など7つの基本的施策を設定し、自殺対策基本法に沿って総合的な対策を実施したが、自殺のメカニズムの段階に応じた取り組みや、自殺の背景にある複合的な要因に対応するため、支援関係者を繋ぐ連携・協働の仕組みが重要であるといった課題が残った。

広島県は、次年度策定する第2次計画素案について、第1次計画の振り返りに基づき、自殺のメカニズムの段階に応じて施策体系を整理し、自殺未遂者対策等、効果が高いと見込まれる事業を重点的に実施すると説明した。

委員からは、計画実施のために必要な予算の確保を求める要望や、自殺者割合の高い地域に必要な人員を配置して対応すべきとの意見があった。

また、かかりつけ医の精神疾患患者抱え込みの防止や精神科医との連携促進に向けた意見があった。東広島地区医師会の事例として、かかりつけ医と精神科医の連携会議など取組について紹介があった。広島県は、自殺対策を含む保健医療施策は各圏域（保健所）で取り組んでいるテーマやその進行度が異なり、県内全てで対応を統一することが難しいと述べ、先進地域の事例を共有し、各地域での実施に繋ぐことができる体制を今後整備したいと説明があった。

#### 2) その他

平成26年12月より職場におけるストレスチェック制度が開始され、該当者の支援体制について課題が生じているとの報告があった。

今年度の精神疾患専門委員会の活動は本会議をもって完了するが、次年度の検討課題として、上記ストレスチェック制度の他、アルコールによる健康障害（依存症、妊婦・未成年の飲酒、飲酒運転など）が挙げられた。

### ○災害医療フォーラム

日 時：平成28年1月19日(火) 19時30分

場 所：広島県医師会館3階 301会議室

委員長：山野上 敬夫

県内の災害医療に携わる関係者を対象に、災害医療における行政と医療の連携に焦点を当て、パネルディスカッション形式のフォーラムを開催した。

**パネルディスカッション**

平成26年8月に広島市で発生した大規模土砂災害では、広島市を中心として地域の医師会や医療機関、県、関係職能団体などさまざまな関係者が医療支援の対応にあたった。災害医療において、行政と医療のスムーズな連携は医療リソースを適切に配分し、混乱なく医療を提供するために重要であることから、行政、医師会、DMAT担当者にパネリストとしてそれぞれの災害医療への取り組みや連携体制について発表いただき、行政と医療の連携について意見交換した。

※本フォーラムの詳細は、広島県医師会速報第2291号(2月25日号)にて既報。

**○圏域地对協研修会シンポジウム打合せ**

日時：平成28年1月21日(木) 19時30分

場所：福山ニューキャッスルホテル

平成28年2月7日(日)の圏域地对協研修会では、「発達障害の理解と地域支援～専門医療－地域医療－療育・就学をどうつなぐか～」をテーマとして、特別講演、シンポジウムを計画し、中でもシンポジウムでは、「発達障害の理解と地域支援」をテーマに、「専門医療」、「相談・支援」、「療育・就学支援」それぞれの役割を担うシンポジストから発表後、地域全体で発達障害児を支えていくことを目指して、討論を行うこととしていた。より円滑に、かつ実りある内容とすべ

く、座長やシンポジストと進行内容、発表内容並びにディスカッションテーマについて確認した。

※なお、圏域地对協研修会当日の様子は、広島県医師会速報第2291号(2月25日号)附録にて既報。

**○終末期医療のあり方検討専門委員会実施のモデル事業関係報告(1月)**

委員長：本家 好文

①日時：平成28年1月19日(火) 19時00分

場所：佐伯地区医師会館

②日時：平成28年1月22日(金) 19時00分

場所：広島県医師会館

広島県地域保健対策協議会の終末期医療のあり方検討委員会では、これまでにACPに関するツールの作成や普及啓発を行っている。今年度は医師会員に向けた広報を重点目標として、モデル事業を実施することとし、全地区医師会に向けて公募した結果、呉・福山・因島・安芸・佐伯・広島市東区の6つの医師会を選定した。

このたび、佐伯地区医師会で会員向けに、広島市東区医師会で医療関係者並びに行政に向けた講演会開催希望があったため、委員会関係者を講師として派遣し、委員会の経緯やACPの意義や目的などについて説明した。

**県地对協からの提供資料について**

県地对協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

**【地域連携クリティカルパス】**

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳 Ver.4」
- 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- 肝がん「わたしの手帳」
- 胃がん内視鏡「患者用地域連携パス」
- 大腸がん内視鏡「患者用地域連携パス」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳 Ver.2」
- C型肝炎「わたしの手帳」
- 胃がん「わたしの手帳」
- 大腸がん「わたしの手帳」

**【パンフレット・マニュアル】**

- 予防接種の普及を目指して ACPの手引 ～私の心づもり～
- 医療従事者等における体液曝露事故後のHIV感染防止マニュアル
- 「広島県内のダニ類媒介感染症～つつが虫病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」リーフレット

**【報告書】**

- 新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書

【事務局】 広島県医師会地域医療課 電話：082-568-1511

Eメール：citaikyo@hiroshima.med.or.jp

※一部ホームページにて公開中

広島県 地对協

検索

